

令和4年度キャリアアップ研修

NO	期日	分野	内 容	講 師・発表者	形態	受講者アンケートのご感想			
1	4月19日(火)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「発達とメカニズム」 「幼児教育・保育の役割と機能及び現状と課題」 「幼児教育・保育と児童福祉の関係性」	新宿せいがこども園園長 保育環境研究所ギビングツリー代表 新渡戸文化短期大学客員教授 藤森 平司 氏	ZOOM 動画 視聴	過去と現在の違いがよくわかりました。自分たちが受けてきた保育・教育のことも分かりよかったです。ありがとうございました。	遊びを学びに変える能力が子どもにはある。という先生の言葉が強く印象に残りました。子どもたちがうらやましいと思いました。STEAM教育の内容を聞いてワクワクしました。	幼児の時期に学習意欲・自制心の獲得、人間性の構築など将来必要な力を学び、その楽しさを感じるこの重要性を見直す必要があると学ぶことができました。	子どもが主体的に遊び込めるような環境をつくる大切さが分かりました。小学校へなめらかに接続出来るよう、様々な体験をさせてあげたいです。
2	4月27日(水)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「幼児期にふさわしい生活」 「遊びを通して学びに向かう力を育む環境構成」 「一人一人の発達の特性に応じた支援及び他職種の協働」	玉川大学 教授 東一の江幼稚園園長 田澤 里喜 氏	ZOOM 動画 視聴	遊ぶだけでなく、遊びを広げるためのサイクルを作る必要があると学ぶことができました。	事例があり、ありのままの先生のお話、園の様子が聴けて参考になりました。ありがとうございました。	どうしたら遊び込めるか⇒長時間遊び込むと考えてしまっていた所があったが、時間の長さではなく移り変わる興味の中でいるんことを「感じる」「考える」ことが重要なのだと感じ、もっと柔軟に環境を考えていきたい。	沢山の具体的な事例をもとに「幼児期の遊び」の大切さを痛感しました。保育者が指示ばかりするのではなく、主役の子供が自発的に遊べる環境を整え、援助し自らもワクワク楽しむ者でありたいです。
3	5月11日(水)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演 「保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について」 「保育所児童保育要録・園児指導要録について」	大阪総合保育大学 学長 大方 美香 氏	ZOOM 動画 視聴	要録を記入するにあたり子ども一人一人の遊びや活動を通して何が育っているかなどを踏まえ、伸びている所を記入するなど、書き方の理解が深まった。	今回改めて要録の書き方を学ぶことができ、理解出来ていなかった意味や書き方を知られて良かった。保育者の思いが小学校の先生に理解されないと嘆くのではなく、理解してもらえようように小学校の指導要領や10の姿を踏まえて書いていきたい。	砂遊びやままごなどの具体的な遊びからの考察が分かりやすかったです。ありがとうございました。	要録記述については具体的に何を参考にして記述するのか詳しく教えて頂いた。先生のお話した時、どのように声をかけているか」という問いがあり、自分の保育を振り返るよい機会となった
4	5月18日(水)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「資質と能力を育むための保育内容」 「個々の子どもの発達の状況に応じた幼児教育」 「教材研究」	玉川大学 教授 東一の江幼稚園園長 田澤 里喜 氏	ZOOM 動画 視聴	聞き取りやすい口調でお話されたので最後まで集中して受講できました。実際の現場での事例もあったのでわかりやすかったです。「環境構成は7割失敗3割成功を繰り返して取り組むことが大切」をもとに保育をしていきたい。	様々な事例を聞かせて頂き大変わかりやすく勉強になりました。上手いかなかった事例も沢山あるとおっしゃっていたのでその様な話も機会があればお聞きしたいと思います。ありがとうございました。	その後の時間経過の報告や保育士の姿(子供への対応)がどうであったか、具体的にいられて下さった事でより保育の内容、教材をどのように子供達に提供していけば良いかのヒントになり、これからは生かせる講義でした。	他園でどんな保育をされているのかなかなか見る機会がなかったので、とても勉強になりました。「常に新しい眼で見ている」という言葉が印象的でした。
5	5月25日(水)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「全体的な計画に基づく指導計画の作成」 「観察を通しての記録及び評価」 「評価の理解及び取組」	鳴門教育大学 大学院学校教育研究科 教授 木下 光二 氏	ZOOM 動画 視聴	先生の声がとても心地よく、お話しに引き込まれました。内容も分かりやすく、反省したり納得したりの2時間半でした。	指導計画ではPDCAサイクルが大切であり、記録ではありのまま書き客観的に捉える事が大切であると学んだ。	適当な環境を作る大切さが分かりました。できるだけ子ども主体で活動が実行できるようにしていかなければいけないと思いました。	後日の動画視聴でしたが、講師と参加者のやり取りがあり、共感したり参考になることもあってよかったです。
6	5月31日(火)	幼児教育・保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「小学校との接続」 「アプローチャリキュラムとスタートカリキュラムの理解」 「保育所児童保育要録・園児指導要録について」	鳴門教育大学 大学院学校教育研究科 教授 木下 光二 氏	動画 視聴	連携と接続の違いに気付き、カリキュラム・マネジメントについて深く知ることができた。保育をより良くしていきたい。	記録の書き方を気をつけると、その子の学びに気付ける力が身につくと感じたので、実践していきたいです。	写真や動画を沢山使用して話が進められていたので、とてもイメージが湧いて自分の園との比較もしやすかった。	講義の中の動画で子ども達が本当に楽しそうにしている姿、自園でも見られるようにしたいと思いました。
7	6月13日(月)	保育実践	13:00～15:30 講演 「子どもの発達に合わせた遊びの展開—共感力と安全能力を育もう—」	安田式体育遊び研究所 所長 居間 達彦 氏	ZOOM 動画 視聴	子ども達と実践しました。本当に力みなく、汗をいっぱいかいて楽しんでいました。安全能力も上がり、身体もたくさん使える遊びを沢山取り入れていきたいです。	実践動画が多くわかりやすかったです。すぐに活動で取り組んでいきます。「わくわくタイトルコール」は大人でも聞いてわくわくさせられました。	運動の意味、何に繋がっていくかよくわかりました。	最後にあげられていた「遊びの樹形図」についての詳しい研修もとても興味があるので配信などで見てみたいと思った。
8	6月17日(金)	保護者支援・子育て支援	10:00～12:30 講演 「保護者支援・子育て支援の役割と機能及び現状と課題」 「教育・保育施設等の特性を活かした支援」 「保護者の養育力の向上につながる支援」	名古屋柳城短期大学 専任教授 小嶋 玲子 氏	集合 研修	これまでは保護者支援をしているつもりでしたが、研修の中で「特性を活かした支援」という内容を聞き、専門性を活かした支援の方法を考えていきたいと思いました。	保護者支援というと保護者に対して何かをしないといけない、という意識も強かったが、あくまで日頃の保育を大切に行うことが結果に繋がっている事を改めて気づくことができました。	事例を出し合って、レバトリーを増やしていきたいです。	保護者への関係づくりの所で評価をせず、事実を伝えるように気をつけたいです。

9	6月18日(金)	保護者支援・子育て支援	13:30～16:00 講演・演習 「保護者に対する相談援助の方法と技術」 「保護者に対する相談援助の計画」 「社会資源の理解」「地域の子育て家庭への支援」	名古屋柳城短期大学 専任教授 小嶋 玲子 氏	集合研修	相談された時の保育者の会話の量が8:2という話があり、私自身は話過ぎる傾向にあるので、今後は8:2を意識していきたいと思いました。	成功した保育事例など保育者間で話す機会を持たらと思います。	解決策を導くのではなく、保護者が解決するための援助ができるようにしていきたいです。	ロールプレイをする中で他園の対応や相談を知ることができてよかったです。保育士の専門性を改めて考えると難しかったですが、自園の特性や地域を含んだ支援は何をしようかとなりました。
10	6月21日(火)	保護者支援・子育て支援	13:00～15:30 講演 「専門職及び関係機関との連携」 「地域資源の活用」 「『子どもの貧困』に関する対応」	京都華頂大学 副学長 現代家政学部 学部長・学科長・教授 流石 智子 氏	ZOOM 動画視聴	「保育者しかできない役割」という事を何度も言われていたがそれほど大事な役割をになっているという事を自覚して日々保育していきたいと思った。	デリケートな問題なのでどこまで言えばいいか？踏み込めるか？と考えてしまいます。課題を聴きながら納得したり、難しいと感じたりした。	ハイリスク家庭になる要因の重さを感じました。適切な支援・子育て支援を受けられる児童福祉の課題を日本は背負っている。もっと知るべき現状があると思いました。	制度や支援の流れ、地域資源の活用など理解できた。次どうするのか、どのように園として取り組んでおられるのか事例を聞いてみたいと思った。
11	6月29日(水)	乳児保育・教育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「発達とそのメカニズム」 「乳児保育・教育の役割の機能」 「乳児保育・教育の現状と課題」	大阪総合保育大学 児童保育学部 特任教授 大橋 喜美子 氏	ZOOM 動画視聴	内容として知らない事があったわけではないが、大事な事忘れてはいけない気持ちを再確認する事ができとてもよい時間となった。	子供の自己肯定感を築ける関係性づくりを心がけていきたい。	外遊びの大切さを学ぶことができました。良い発達にはやはり自然に触れる季節を感じていろんな体験から学び育っていく手伝いができるように保育していきたいと思います。	乳児期における発達、各月齢をむかえた時の指標となるポイントや保育実践をする為に常に意識していく必要があること(子どもの主体性や感性、自己肯定感を育むため)について分かり易く学ばせていただいた。
12	7月7日(木)	人権Ⅲ	13:30～16:00 講演・グループワーク 「子どもの最善の利益の尊重・一人一人の子どもの発達保障～事例集を活用して～」	京都華頂大学 教授 山川 宏和 氏	集合研修	色々な事例を考える中で自分のことを振り返っていました。こうして考えていくことが大切だと思います。園でも研修できればと思いました。	想像できる事例ばかりで自分の保育、自園の保育を振り返る見直すよい機会になりました。是非園内研修に取り入れたいと思います。	色々な考え方があることに気づきました。こうして短い時間でしたがお会いした先生方も子どものことを考えて一生懸命保育されているのだと思うと、また明日から頑張れそうです。	他の人と意見交換することで自分では思いつかなかったことがどんどん出てきて、その人の人なりも分かって、話し合うことって大切なんだと改めて気づかされました。
13	7月8日(金)	人権Ⅰ 保護者支援・子育て支援	13:00～15:30 講演 「児童虐待の実態及びその予防と対応」	京都華頂大学 教授 山川 宏和 氏	ZOOM 動画視聴	虐待で大切な命が失われることがないように、日々の保育の中で保護者との信頼関係を築き、小さな変化に気づけるように心がけたい。	虐待について、自分たちにできることを考えさせられました。施設内虐待についても聞いてみたかったです。	身近な事柄でありながら、マニュアル通りにはいかず(発見できたとしても)介入・予防・防止など様々な課題があると感じました。社会的養護についても学びたいと思いました。	こういった機会がないと、今現場で問題となっていることや法律に関する事などを学ぶことがないので大変勉強になった。
14	7月13日(水)	食育・アレルギー対応	13:00～15:30 講演 「衛生管理の理解と対応」	Graine代表 伴 亜紀 氏 京都府山城北保健所衛生課 長崎 貴子 氏	ZOOM 動画視聴	調理の仕事をしていたら当たり前になっている衛生管理についてをグループワークを通して保育現場の方に知ってもらえる良い機会、ワークだと思った。「調理室も保育室も同じ衛生管理」という言葉が印象的でした	ワークの発表を聞き、他園の様子を知ることができてよかった。	衛生管理について知っている事もたくさんありましたが、知らない事も多量にあって栄養士としてさらに仕事への意欲が高まりました。	今一度「食中毒」「園児たちに安心安全の給食」を心がけて取り組もうと思いました。(いつもやっていることではあるが)
15	7月15日(火)	保護者支援・子育て支援	10:00～12:30 講演 「保護者支援における面接技法」Ⅰ	名古屋柳城短期大学 専任教授 小嶋 玲子 氏	集合研修	保護者に相談された時に答えを出そうとしていたことに気付かされた。自分ばかりが喋りすぎないように保護者の話を聞く事を大切にしたい。	保護者と保育者にも相性があることを理解し、うまく話が進まない時にはほかの職員で対応するなど協力し合うようにしていこうと思います。	支援者自身に心のゆとりがないと適切な支援はできないので、質問に対してしっかり話しあえるように①場所②位置関係③時間④人間関係のポイントを抑え取り組んでいきたい。	「すみません」を使ってしまうがちですが、「ありがとう」言い換えていきたいです。
16	7月15日(火)	保護者支援・子育て支援	13:30～16:00 講演 「保護者支援における面接技法」Ⅱ	名古屋柳城短期大学 専任教授 小嶋 玲子 氏	集合研修	リフレーミング(短所や欠点と捉えている事を肯定的な視点から見直してみる)という技法をきき日々その考えになるようにしていきたいと思いました。	保護者の質問に対して答えがほしいとは限らないケースがあることや、沈黙は考えている時間、など関わりや支援の新たな気づきがあり支援の幅が広がったと感じました。	問題を外在化するという事を取り入れてみたいと思います。特にかんしゃくを起こす子どもに言葉がけを変えて関わってみたいと思いました。	事例をあげて園での対応や担任の対応などを確認することが大切だなとつくづく感じました。

17	7月20日(水)	マネジメント	13:00~15:30 講演・グループワーク 「職員の資質向上・保育実習への対応」	金沢星稜大学 こども学科 教授 開 仁志 氏	ZOOM 動画 視聴	研修を受けて厚生労働省から出されている自己評価ガイドラインをしっかりと読んでみたいと思いました。実習生への対応に悩むことが多くあるが日誌タイプの違いや指導案のポイントなどとても役立ちました。	実習生についてや「人を育てられる職員を育てる」ことを改めて自分なりに考える機会になりました。	実習生への対応力も今後必要になってくる、人員確保は自園でも現実である。今回の研修はリアルだと思いました。	初めてマネジメントの研修を受けました。楽しそうに講義されている開先生が印象的でした、これからの保育にいかしていきたいです。
18	7月21日(木)	マネジメント	13:00~15:30 講演・グループワーク 「関係法令・制度及び保育指針・教育保育要領について」「他職種との連携・協働」	大阪教育大学 教育学部 教授 大阪教育大学附属天王寺小学校 校長 小崎 恭弘 氏	ZOOM 動画 視聴	「子どもの最善の利益」を確保する場所であることを忘れずに保育の質が向上するようにチーム一丸となって保育を行える環境をつくっていききたいと感じました。	分かりやすい解説でとても勉強になりました。難しい内容も伝え方でこなにも伝わるのだと思いました。また研修に参加します。ありがとうございます。	法令についてだけでなくZOOMについて学べたのでよかった。あまり使い方を知らなかったがもう少し知ってみようという気がおこった。+αの内容があったので講演内容にも入りやすかった。	馴染みやすい語り口でいいに話していただきありがとうございます。保育ニーズの質が低下している話に共感しました。現場からの声を感しました。
19	7月22日(金)	マネジメント	13:00~15:30 講演・グループワーク 「組織における目標のあり方とその設定」 「組織の目標と個人の目標づくり」			自分の立場は上の人にも下の人にも「気をつかう」のではなく、心地よく働けるようにしていかないといけない。その為には「自分を大切にしなければ」と改めて考えさせられました。難しいけれど、わかりやすい研修でした。	小崎先生の研修は自分の為になり、学びが大きいです。そしてポジティブになれる。楽しく学べ意欲が高まります。	自己評価は毎回事あるごとにしているが組織の改善点となかなか話し合えない。保育の質向上という事で取り組み組んでくれたらもっと働きやすくなるのと思った。	園の職員全員が1つのチームになることの重要さが理解できました。以後の業務に活かしていきたいです。
20	7月28日(木)	保育実践	13:00~15:30 講演・グループワーク 「子どもとの関わり」	大阪総合保育大学 学長 大方 美香 氏	ZOOM 動画 視聴	語り方がやさしくて、ゆっくりでわかりやすかったです。	実際の写真を使った説明だったり質問が多く考えられる時間、自分自身と向き合える時間があったので夢中になりながら聞く事ができました。子供達が「もう1回！もう1回！」となるような保育をしていきたい。	保育者がどの様に関わるかによって子どもの育ちが変わっていく！！この重みを感じ、日々、子供達と関わっていくことを再確認しました。	間違っって新規採用者研修を受けてしまった(動統35年)しかし、とても良い内容で動統年数が長いからこそ自分の保育を見つめ直し考えるべきことだと思いました。
21	8月3日(水)	乳児保育・教育	13:00~15:30 講演 「乳児保育・教育における個々の発達を促す遊びの環境」	非営利団体 コドモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 氏	ZOOM 動画 視聴	研修を受けて、子どもへの接し方について改めて考えさせられた、「危ないからだめ」となんでも禁止するのではなく何故危ないのか子ども達自身で考えられるようにしたいと思いました	レジメがとても見やすく、画像をみて解説してくださいだったのでとてもわかりやすかったです。	「環境」の一言でも様々な考えややり方があることを知り、考えることができました	毎日の保育を振り返り、本当に愛情豊かに応答的に保育しているか反省する機会となりました
22	8月10日(水)	人権II	13:00~15:30 講演 「人権が守られる環境づくり」	佛教学大学副学長 教育学部 教授 原 清治 氏	ZOOM 動画 視聴	とても楽しく視聴させていただきました。もっと早く原先生の講義を受ける事が出来たらよかったです。自分の子育ても含め、考えさせられる事が沢山ありました。	子どもを褒める時は努力の過程など具体的に達成した内容をあげながら褒めることや、中学や高校にいった時の自尊心の伸びしろを作っているとの話はとても納得できわかりやすかったです。	人権の話ってむずかしい、という思いで研修に入りましたが、おもしろく参加できました。	久々に原先生のお話を聞き、大事な事は時代を経ても変わっていないことを再確認できました。
23	8月23日(火)	乳児保育・教育	13:00~15:30 講演・グループワーク 「0歳児の発達と保育内容」		ZOOM 動画 視聴	現在、0歳児の担任をしているので、今回学んだことをもとに今までの自分の保育を見直していきたいと思いました。	具体例がありわかりやすかった。0歳児との関わりから離れていたのを、改めて人間の土台で大切なわずかな期間なのでとても大切にしたいと感じました。	とても分かりやすく、今の保育にぴったりの話で、「自分の発信には人を動かす力がある」と気づく、姿勢が変わると意欲も変わる、人に期待し人を求める心の育ちという所は今本当に実感していることでした。	グループワークの討論の内容を全グループ分フィードバックして下さっていて自クラスと照らし合わせてなるほどと具体的に参考にできる事があり、有難かったです。
24	9月1日(木)	乳児保育・教育	13:00~15:30 講演・グループワーク 「1歳以上3歳児未満児の発達と保育内容」	京都文教 短期大学 教授 松田 千都 氏	ZOOM 動画 視聴	グループワークを通して同じ悩みだったり工夫の仕方などのアドバイスがあったりととてもわかりやすく理解できた。資料として入っていた小論がとってもよかったです。	保育を変えてみる勇気と試行錯誤という言葉がとても印象的だった。こうしなければいけないという事も保育をする大人の思い込みで視点やちょっとした工夫でゆとりをもって関わられたり子どもへの理解が深まる。	大人から見て「困った行動」にもちゃんと理由があることを改めて学びました。子どもとの関わり方。適切な環境とは？私たちも毎日が勉強だと思いました。	エピソードによる例がとてもよくわかりました。自身が保育する中でもそういう発見をどんどんしていきたいです。

25	9月7日(水)	乳児保育・教育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「保育者の適切な関わり」	非営利団体 コドモノミカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 氏	ZOOM 動画 視聴	研修No21に引き続き井桁先生の講義は実践に基づいていてわかり易く、深い考察がとて興味深いため学びであふれていると感じています。いつもありがとうございます。	子どもが幸せに生きるためにその育ちを応援する専門家として保育していきます。	育て急がず子どもを信じて待てる保育者になれるように努力したいと思います。	保育者の感情は子どもに伝染することを知り、マスクをしていても保育者の声色、視線、仕草、表情。口調を子どもたちは見ているので意識しながら保育したいと思う。
26	9月12日(月)	乳児保育・教育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「全体的な計画に基づく指導計画の作成」 「観察を通しての記録及び評価」 「評価の理解及び取組」	社会福祉法人真生会 白百合心理・社会福祉研究所理事長・所長 青木 紀久代 氏	ZOOM 動画 視聴	研修が聞き取りやすく理解しやすかった、今までにない考え方やヒントが多くこれからの保育にすぐ活かしていきたいと思える内容だった。	日々記録するだけが日誌ではなく、目標を立てるだけが指導計画ではないと学びました。	改めて仕事量は多いと感じるが計画を立てたり日誌などで反省することによってより良い保育へと変わっていくきっかけになる、保育士は働きながら一番勉強できる仕事であると再認識した。	実践発表の2園ともそれぞれに素晴らしかった。青木先生は優しい語り口でとてもわかりやすかった。
27	9月13日(火)	食育・アレルギー対応	10:00～12:30 講演・実演 「保育所における食事の提供ガイドラインの理解」 「食事の提供における質の向上」	Graine 代表 伴 亜紀 氏 食育サロン「旬」 佐井かよ子 氏	集合 研修	自園でも小麦や卵アレルギーの子もおり、米粉を使ったレシピが参考になった、米粉の取扱いの難しさも勉強になりました。	おからパウダーを使ったバナナケーキは子どもたちに食べてほしいくらいとても美味しかったです。	給食は外部委託なので自園で調理することはないですが、実際に作ってみて形状の違い、口の中に入れた時の食感の違いは実体験してみないとわかりにくい事でした。今後調理する際子どもに合っているか確認したい。	子どもの様子や発達をしっかりとみながら中期・後期などの離乳食を進めていきたいと思った。
			13:00～15:30 講演 「保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解 ～現場における食物アレルギーの対応」			離乳食をもう一度その子にあっていく担任と見てみたいと思いました。いつも豆乳を使用していたのですが、アレルギー用ミルクを使用してみようと思いました。	個人のスピードに合わせた離乳食であせらずゆっくりとすすめて行けたらと思います。アレルギーは共通認識が大切とおっしゃっておられたので帰って園で共有し取組めたらと思いました。	現状も給食室と連携を取りながら日々取り組んでいますが、直接食べさせているわけではないのもっと現場と意見を交わし合い家庭とも共有できるように心掛けたい。	最近増えている口腔アレルギーの対応方法なども勉強になりました。保育士さんへのアレルギー対応の意識の向上も伝えていけたらと思いました。(栄養士)
緊急 研修会	9月15日(木)	保健衛生・安全対策	13:00～14:30 講演 「園の安全について今一度考え直そう」	ジャーナリスト(一社)子ども安全計画研究所代表理事 猪熊 弘子 氏	ZOOM 動画 視聴	子どもたちの安全について考え直す良い時間となりました。子どもの安全を第一に考え、危険な場所がないか再確認しようと思いました。	今まで通りで大丈夫ではなく、常に指導計画やねらいを持つことの大切さを改めて感じました。「おかしい」と気づいた時には誰も言い出せる雰囲気づくりを心がけていきたいです。	研修受講させていただきありがとうございます。保育園での事故を耳にするたび心が痛みます。このような事故を起こさない為に危機感を常に持ちたいと思います。	緊急研修会という事でタイムリーに園の安全について話を聞くことができとてもよかったです。猪熊先生の話もわかりやすく実践的で沢山の学びとなりました。
29	9月20日(火)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演 「障がいのある子どもの理解」 「医療的ケア児の理解」 「合理的配慮に関する理解」 「障がい児保育に関する現状と課題」	舞鶴こども療育センター 副所長 四方 あかね 氏	ZOOM 動画 視聴	保育の中で不安を和らげて居心地よくしてあげる、それだけで症状が和らぐと聞いたことが印象的だった。こどもの思いに気づいていけるように努めていきたい。	子どもの様子を観察し子どもの力を活かす支援を行った事例がとても参考になりました。最後に紹介のあった障がい児保育に長年携われた先生方の「発達」「発達支援」についての文面とても心に残りました。	子ども一人一人の行動には必ず理由があること、一人一人にあった支援を見つけていくことがその子の未来に繋がると、とても勉強になりました。ありがとうございます。	境界域の子どもに対して診断がつかなくても保育現場において適切な支援が行える様になってほしいと思います。
30	9月29日(木)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「障がい児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境」 「障がいのある子どもと保育者のかわり」 「障がいのある子どもと他の子どものとの関わり」 「他職種との協働」	京都文教短期大学 幼児教育学科 准教授・学科長 張 貞京 氏	ZOOM 動画 視聴	「できないことがあって困っているのは保育者ではなく子どもだ」という当たり前のことだけだと自分が忘れていた事を改めて学ぶことができ、今のクラスが支援を必要とする子どもが多いので子どもの願いを知ろうとする姿勢を忘れずに保育していきたい。	人的環境、物的環境について、もう一度考えていきたいと感じました。大人目線での環境構成になっていないかの確認はとても大切なんだとわかりました。	現場での姿勢に活かしていきたいと思いました。他園とのグループワークはやはり大変参考になるのでまた対面での研修ができるようになっていけばいいと思います。	先生のお話で日々の保育、あそびを考え直し見直すことができそうです。とても勉強になりました。ありがとうございます。
31	10月6日(木)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「障がいのある子どもの発達と援助」 I		ZOOM 動画 視聴	実際に事例について課題と対応を考えたり、あいまいな表現を絵で表してみることで、表現の仕方を見直すきっかけとなり学びが多かったです。ありがとうございます。	できない事をできるようにするという目標ではなく、子ども自身をしっかり観察してその子どもの思いや願いがどうなのか、主体的に関わろうとする力を育てること等、大事だと気づきました。	知的な遅れのある子どもの理解での「まな板のたとえ」がとてもわかりやすかったです。診断名にこだわらず、手がかりとしていきたい。	研修をありがとうございました。障がいの種類や程度によって保育の内容や援助の仕方が違うと思いますが、集団生活をする中で安心する場所が大切なのだと感じました。

32	10月13日(木)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「障がいのある子どもの発達と援助」II	京都文教短期大学 幼児教育学科 准教授・学科長 張 貞京 氏	ZOOM 動画 視聴	研修の中で「子どもの望ましくない行動に保育者が反応し過ぎている」という話は一番印象に残っている。こうであるべきと思いついて関わるのではないように気をつけたいです。	発達障がいの子どもの「見え方」「聞こえ方」など当たり前が当たり前でない状況にあることに改めて気づいた。ワークを通してさらに理解を深めることができた。	将来障がいのある子ども達があるままの力を活かした人生を送ってほしいような社会になればと思う。その為に乳幼児の子どもの理解をバージョンアップし外的、連続的な捉え方で判断できるように活かしたい。	気になる子が多くなっているの、その子どもたちを含めて、よりよい保育内容にする為に国の基準人数の見直しも必要かなと感じた。
33	10月27日(木)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「保護者や家族に対する理解と支援」 「地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成」 「小学校との連携」	京都文教短期大学 幼児教育学科 准教授・学科長 張 貞京 氏	ZOOM 動画 視聴	意義深い講演をありがとうございました。スピード感のある講演で沢山の知識を得ることができました。他園の先生方の声(抱えている問題)を聞くことができ、悩みは尽きないと感じました。が、頑張っている方がいらっしゃると思うと明日への活力になります。	保護者が我が子の障がいに気付いたり受容する難しさを知ることができました。保護者と面談したり対応する時に気をつけることも等も学ぶ事ができたのでこれからの保育に活かしていきたいです。	保護者の立場で考えることを今後も大事にしていきたいです。	保護者だけでは気づけない発達障害でも集団で生活する中で保育者が気づくことがあるのだと改めて勉強させていただきました。
34	11月1日(火)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「保健計画の作成」 「保健活動の記録と評価」	名古屋学芸大学看護学部看護学科 小児看護学 教授 金城 やす子氏	ZOOM 動画 視聴	保健計画の必要性や感染症予防についての重要性を改めて感じ、色々考える時だと思いました。とても詳しい説明で分かりやすかったです。ありがとうございました。	実践例がとても参考になりました。実際に実行されている事で取り入れやすく感じます。感染症予防については何度学んでも情報が更新されたり、忘れがちだったりするので定期的にアップグレードしておかないといけないと思いました。	保健計画は子どもたちの健康を守ったり、知らせていったり、感染予防にとっても大切なものであり、全員が同じ方向を向いて理解して取り組んでいく必要性を改めて感じました。	保健計画の作成にはやはり看護職の配置があればよりスムーズに進むのだが、課題が多くて難しい現実を知りました。保育士にも出来る、実践している保健衛生・安全対策の話も参考になりました。
35	11月10日(木)	支援を必要とする子どもの保育	13:00～15:30 講演・グループワーク 「全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録」 「個別指導計画作成の留意点」 「障がい児保育の評価」	京都文教短期大学 幼児教育学科 准教授・学科長 張 貞京 氏	ZOOM 動画 視聴	子どもの困った行動だけクローズアップするのではなく、その行動の前後が大切であるということも学びました。自らが育つことができる保育の振り返りを行っていきたくと思います。	「自己調整学習」の考え方が自身の学びを広げる為の重要なものに繋がった。こどもを捉える目がその人の人間性が出ることも大切にして観察していきたい。	個別の指導計画の記入方法や記録・観察・目標設定をしていく上での注意点・意識していく点を学ぶことができました。ありがとうございます。	回を重ねるごとに張先生の熱のこもった話し方が心ひきつけられました。伝え方を学ぶ機会にもなり、楽しかったです。
36	11月15日(木)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組」	ジャーナリスト(一社)子ども安全計画研究所 代表理事 猪熊 弘子 氏	ZOOM 動画 視聴	かみつきについての説明の仕方についても、色々考えさせられました。お昼寝の明るさについて、もう一度考えます。	研修の後、改善できる所はしようとして話し合いました。乳児クラスを主に見ているのでとても勉強になり、事故防止に繋がりたいと思いました。	自分の保育を見直すヒントが沢山ありました。ソフト面とハード面からしっかりと見直していきたいと思っています。子ども一人一人の存在を大切に、いのちを守ることを常に心掛けていきたいです。	指で丸をつくる習慣をつけて、ノドに詰まりやすい形状と大きさに注意していきたい。子どもの安全を一番に考え子ども「やりたくない」という主体性も大切に保育していきたいと思っています。
37	12月2日(金)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「体調不良や傷害が発生した場合の対応」 「救急処置及び救急蘇生法について」	元 京都華頂大学 現代家政学科 准教授 中村 洋子 氏	ZOOM 動画 視聴	様々な体調不良や傷害が発生した場合の対応や救急処置の対応を細かく理解し、再確認することができました。ありがとうございました。	子どものいのちを守ることに、適切な処置をすること、その為に子どもの普段の様子をしっかりと見ることが常に頭に！ありがとうございます。	日頃の保育の見直し、他園ではどのような対処をしているのか、など答え合わせのような事ができて分かりやすく学べました。	飲み薬の効き方についてよく理解できよかったです。
38	12月6日(火)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「災害への備えと危機管理」 「他職種との協働」	(株)アイギス代表 脇 貴志 氏	ZOOM 動画 視聴	脇先生のお話は2回目になります。ハッとさせられますし、緊張感のある内容で今園に足りないものは何か、考えさせられます。災害時をイメージし、どう過ごさせたいかをもう一度しっかり考え、備えを見直していきたいです。	災害対策に準備しているものを普段から使って、慣れておくことが大切だと分かった。	いまの時代の流れやどう対策していけばいいか詳しく説明してくださったのがとても分かりやすかったです。ありがとうございました。	災害への見方が変わった良い研修でした。色々考え、試し、自分がいざという時に動けるように訓練していくこと、常に意識しようと感じました。ありがとうございました。
39	12月9日(金)	保護者支援・子育て支援	13:40～16:10 講演 「教育・保育施設等の特性を活かした支援」 「保護者の養育力の向上につながる支援」	非営利団体 コドモノカタ代表理事 乳幼児教育実践研究家 井桁 容子 氏	ZOOM 動画 視聴	子ども、保護者の方々の心に寄り添い共感する保育を心がけます。ありがとうございます。	井桁先生のひとつひとつの言葉に改めて保護者、子どもへの関わり方を見つめ直すことができました。	日々の何気ない暮らしの中での些細な事の積み重ねが大切、わが身を振り返る良い機会をいただきました。今求められている事は？一人一人尊重するとは？わかっていると思っていた事を改めて考えさせられました。	子どもをよく観察して、保護者に丁寧に子どもの姿を伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。

40	12月4日(日)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「教育・保育施設における感染症対策と血液を介して感染する病気の防止」	社会福祉法人済生会 大阪府済生会中津病院 臨床教育部 部長 安井 良則 氏	動画視聴	今までやってきた消毒のやり方が古い考えだったので、常に新しいやり方を取り入れていかないといけないと感じた。	知らない情報、最新の情報もあり、興味を持って聞けました。ありがとうございました。	コロナの事が中心になる事が多くなりがちだったが、他の感染症との区別がつきにくいこともあるので、流行などの兆しをしっかりと把握し、情報を知っておく大切さも改めて感じました。	色々なデータがあり勉強になりました。 感染症の流行する時期なので大変興味深い講義であった。今後も知識を高めていきたいと思う。
41	12月12日(月)	保健衛生・安全対策	13:00～15:30 講演 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインの理解」 「安全な環境づくりと安全確認方法」 「保育園虐待事件の問題点と振り返り」	(株)アイギス代表 脇 貞志 氏	ZOOM 動画視聴	ガイドラインをしっかりと周知していき、子どもたちを守っていきたく思いました。「知らないものは見えない」という言葉を忘れず過ごしていきたいです。	不適切な関わりの事件があり、なんとなくもやもやしていた事をハッキリと明確にしてくださいました。ありがとうございました。	改めてガイドラインを読みなおしたり、再確認する機会ができて良かったです。	「周知」について考える時間になりました。そして「つもり」ではなく「あえて」する事で安全を意識しなければいけないと思いました。
42	1月10日(火)	食育・アレルギー対応	14:00～16:30 講演 「栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能」 「食事摂取基準と献立作成・調理の基本」	国立大学法人 上越教育大学大学院 教授 野口 孝則 氏	ZOOM 動画視聴	毎日の食事、毎日の生活が「食育」に繋がっていくことを学び、子どもたちが楽しく学ぶ事ができるように考えていきたいと感じました。	コロナ渦での食育が難しいと思っていたけれど、毎日の給食の提供が実は食育になっている事を知り、明日から食事の様子を見に行ったら声掛け等、やれることはまだまだあると感じました。残食への考え方も変わりました。お腹を満たせたかどうか確認していこうと思います。	怒られながら食べるごはんは美味しくない、出来ない所探しの食育ではなく、できたところを褒める食育、などハッとさせられる言葉が沢山ありました。	様々な例を挙げて離された中で、私自身気づかされる事がとても多かったです。日々の日常の中からもアイデアや工夫で子供達がより食に関して関心が持てるようにしていきたいと思いました。
43	1月17日(火)	食育・アレルギー対応	14:00～16:30 講演 「食育の理解と計画及び評価」		ZOOM 動画視聴	毎日の食事を食育と捉えず過ごすことはもったいないことだと改めて思いました。形や大きさ、調理方法等しっかり伝えていきたいと思えます。	食育計画表に評価欄をつけるといいと学んだので、自園でも取り入れていきたいです。	「やって終わりの食育」「やりっぱなしの食育」にならないように記録し、計画の見直しや反省、評価ができるようにしたいと思いました。	研修をありがとうございました。「はやくたべたいね。」「おなかすいたね。」言っていきます。
44	1月24日(火)	食育・アレルギー対応	14:00～16:30 講演 「食育のための環境(他職種との協働)」 「食生活指導及び食を通した保護者への支援」 「第四次食育推進基本計画」		ZOOM 動画視聴	いつも書いている「おたより」が本当に読みたいものになっているかと思直すことができました。もう一度保護者の立場に立って読んでみたくないのでか考えていきたい。	野口先生の研修はいつも自園の直した方が良い事を言い当てられているように毎回ハッとさせられるお話があります。また機会があれば野口先生の研修を受けたいです。	身近に感じられる研修で気づきが多かったです。ありがとうございました。	食育が時の流れと共に発展していくことを学びました。
45	2月1日(水)	食育・アレルギー対応	13:30～16:00 講演 「アレルギー疾患の理解」 「食物アレルギーのある子どもへの対応」 「アナフィラキシーショック(エピペンの使用方法を含む)の理解と対応」		医療法人 杏華会 あかい家のこどもクリニック 院長 浅井 大介 氏	ZOOM 動画視聴	アナフィラキシーショックの危険性を改めて強く感じました。事故が起きないようにするのはもちろんですが、事故が起きた時の対応が出来るようにしておかないといけないと思いました。	「事故を未然に防ぐ」又「事故時の緊急対応の大切さ」を学び園の状況と照らし合わせて、不備な点はないか改善点はないか等考えていけたらと思いました。	実際に本園でもエビペンを預かっている園児がいるので改めてアナフィラキシーショックへの理解を深める事ができました。
46	2月7日(火)	マネジメント	13:00～15:30 講演 「マネジメントの理解」 「教育・保育施設等におけるマネジメントの現状と課題」 「京都市保育人材キャリアパスモデルについて」	(株)エイデル研究所 常務取締役 京都支社長 小林 雄二郎 氏	動画視聴	改めてマネジメントの大切さ、難しさを感じました。職場が小規模保育園なのでどう考えていったらいいのか、とも感じました。	キャリアアップの仕組みが反映され、職場で活かされると働きやすい環境になるのだろうかと思えました。是非覚えておきたいです。	色々な例えを使ってわかりやすく説明して下さっていたので良く理解出来ました。人を指導するにあたって自分の欠けている所も見直せたので良かったです。	マネジメントについて学ぶ意味や、自分流のマネジメントを培っていきけるようにしていきたいと思いました。また、チームワークをとり、一体となり保育の仕事に努めていきたいと思いました。
47	2月13日(月)	マネジメント	13:00～15:30 講演・グループワーク 「教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解」	(株)エイデル研究所 常務取締役 京都支社長 小林 雄二郎 氏	ZOOM 動画視聴	研修のグループワークの中で、相手の出ている所を伝えるのは簡単ですが、出来てない所を相手にどう伝えるかという内容が共感した事の一つだったので、これから伝えるように考えて話していこうと思います。	親しみやすい雰囲気でお話しして下さり、ストンと心に響いて理解できました。動画受講でしたがグループワークのルーム8の発表で若い先生と一緒に取り組んでいる先生の意見を集め上に繋げる努力をする、という意見を受けとめ強みに換えていきたいと思いました。	リーダーシップの発揮の仕方に種類があるとは知らなかったのが勉強になりました。ありがとうございました。	シェアリーダーシップを学び、それぞれの得意な事を活かしていくといった点や立場関係なくリーダーシップをとる経験ができる事はとてもいい事だと感じた。

48	2月 20日 (月)	マネジメント 保育士研修 まなびD	13:00～15:00 実践研究発表 発表:「いま・ここを分かち合う子育て 支援とは」～地域子育て支援拠点事 業を通じて～ 社会福祉法人宇治福祉園宇治市 ファミリーサポートセンター地域子育 て支援拠点げんきひろば センター長 大槻 優紀 氏 アドバイザー 泉 亜希 氏	仁愛大学 人間 生活学部子ども 教育学科 人間 生活学部長 教 授 石川 昭義 氏	ZOOM 動画 視聴	詳しい発表と質疑応答で 具体的な事例が知れてよ かったです。	支援をされていた方が支 援をする側へ立場が換わ るという方向性の実践研 究にそんな風に換われた らすてきだと思いま した。	子ども、大人どちらでも (あらゆる人にとって の)居心地の良さの追求 は、子育て支援だけでな く、園での保育や親への 対応でも考えなければな らないことだと実感しま した。	他園の様々な取組、工夫 を知れて良かった。また 研究発表への取組の中で 保育で大切な振り返りや 保育者の工夫が生まれる ことがとても良いものだ と気付かされた。
49	3月 2日 (木)	マネジメン ト	13:00～15:00 講演・グループワーク 「雇用管理」「職員のメンタルヘルス」	(株)エイデル研 究所 常務取締 役・京都支社長 小林 雄二郎 氏	ZOOM 動画 視聴	知っているようで「そう だったのか」と学ぶ ことがとても多い内容で した。メンタルヘルスケ アについてしっかり知識 を持ち自分も職場もいつ も明るくイキイキとした 職場にしたいです。	今となっては聞きづらい 雇用について詳しく知れ た。次の世代との関わり 方、自分の在り方を考え させられました。	雇用管理についてこれま で殆ど考えたことがな かったので、考えるきっ かけになってよかったで す。	人と人との関わりが減っ てきたコロナ禍を経験 し、ストレス度が今後ど う変化していくか？プロ セスの中で大変学びが多 かったと思います。あり がとうございました。